

教科	数学	科目	数学A	単位	2	対象	第1学年 A組～E組
使用教科書 (出版社)	高等学校 数学A (数研出版)		使用教材 (出版社)	4プロセス数学I+A (数研出版)			

月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	集合 集合の要素の個数 場合の数	集合の考え方・記号を理解させる 要素の個数を求めらるようにする 場合の数の基礎を理解させる	定期考査と平常時の取り組みを総合的に評価する	6
5月	順列 組合せ	順列・組み合わせの違いを理解させる 順列・組合せを用いて、場合の数を計算できるようにする	定期考査と平常時の取り組みを総合的に評価する	6
6月	事象と試行	確率の考え方を理解させる 場合の数の求め方を利用して、確率を求められるようにする	定期考査と平常時の取り組みを総合的に評価する	8
7月	確率の基本性質	確率の性質を利用して、複雑な確率も求められるようにする	定期考査と平常時の取り組みを総合的に評価する	4
9月	独立な試行と確率 条件付き確率	反復試行や条件付き確率の考え方を理解させる 反復試行や条件付きの確率を計算できるようにする	定期考査と平常時の取り組みを総合的に評価する	8
10月	三角形の辺の比 外心・内心・重心 チェバの定理 メネラウスの定理	中学校の知識をさらに発展させ、図形の性質の理解を深める 三角形の3心を理解させ、定着を図る	定期考査と平常時の取り組みを総合的に評価する	8
11月	円に内接する四角形 円と直線	円について成り立つ性質を理解させる 角や線分の長さを求められるようにする	定期考査と平常時の取り組みを総合的に評価する	8
12月	2つの円 直線と平面 空間図形と多面体	2つの円の位置関係について理解する 空間的思考ができるようにする	定期考査と平常時の取り組みを総合的に評価する	4
1月	約数と倍数 最大公約数 最小公倍数	整数の基本的性質を理解させる 約数・倍数・最大公約数・最大公倍数・商・余りを求められるようにする	定期考査と平常時の取り組みを総合的に評価する	6
2月	整数の性質 ユークリッドの互除法	ユークリッドの互除法と1次不定方程式を理解させる 1次不定方程式を解けるようにする	定期考査と平常時の取り組みを総合的に評価する	8
3月	まとめ ・1年間の復習 ・補充問題	1年間の復習を行い、定着を図る	定期考査と平常時の取り組みを総合的に評価する	4